

会議	令和7年度 第2回坂井市行政改革推進協議会
日時	令和7年11月26日(水) 午後1時30分から午後2時45分まで
場所	坂井市役所3階 災害対策本部室
出席委員	桑原会長、赤土委員、半澤委員、伊藤委員、小林委員、関委員、内江委員、石森委員、久中委員
欠席委員	山内委員
事務局	新開副市長、奥出総務部長、高倉財務部次長兼財政課長、野路行政改革参与、 財政課北川参事、同課福田参事、同課阪本課長補佐、同課白崎主査
会議議題	(1) 公共施設個別施設計画第2期改定について
会議資料	【資料1】個別施設計画(案)、【資料2】各施設一覧表の抜粋、【資料3】概要版、参考資料
会議内容 の趣旨	<p>【会長挨拶】</p> <p>行政改革の重要性は高まっている。効率化は単なる削減ではなく、発想を転換することで改善できる部分もあると考えられる。委員の皆様から幅広いご意見を伺いたい。</p> <p>【協議事項】</p> <p>(1) 公共施設個別施設計画第2期改定について</p> <p>個別施設計画の第2次改定について事務局より説明。</p> <p>委員意見(要旨)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間開放や指定管理の活用で維持費を抑える方法を検討してほしい。単独施設ではなく、エリア単位で複合的に活用、指定管理を委託する仕組みも可能ではないか。 ・施設数が想定以上に多く、老朽化も進んでいる。複合などを否定的に捉えず、時代に合った利用形態への転換が必要だと思う。 ・学校施設は維持される方針なので安心している。ただ、学校プールの老朽化が課題で改修は難しい状況だと思う。民間施設の活用でプール学習を継続できるようにしてほしい。また、秋以降もプール学習をしている学校があるので、寒くなる前に終了できるよう配慮してほしい。 ・多用途利用ができる施設改修を検討してほしい。例えば春江体育館は改修時に空調が整備されておらず、夏は利用が難しい。照明なども含め、改修時には多目的利用を前提とした設計が望ましい。 ・財源縮小による「削減」のイメージが強い。市民感情に配慮し、「未来に向けたリニューアル」という前向きな説明を加えてほしい。単なる縮小ではなく、より良い町づくりのための工夫を示すことで、市民理解が得られると思う。 ・財政状況の厳しさを実感した。老朽化施設の優先順位を明確にし、子ども関連施設は早めに対応してほしい。東十郷中央公園のトイレや藤棚の老朽化も心配。全天候型施設への期待は大きく、子どもたちが楽しみにしているので、早期整備をお願いしたい。 ・「あり方検討」の対象施設が多い。ゆあぼ〜とや公園トイレなど施設の大小があるので、市民への情報公開と理解促進が必要だと思う。特に大規模施設は判断に時間がかかるので、検討方針を早めに示してほしい。市民に考え方を共有することで理解が深まると思う。 ・「あり方検討」について、三国希望園などの施設も対象になっている理由を説明してほしい。 ・見直しの過程では、関係する住民に前もって情報を提供することが重要だと思う。方向性を繰り返し説明し、心の準備期間を確保することで住民感情も和らぐので、適宜情報開示を行ってほしい。 ・「あり方検討」の施設が今後どのように検討されていくのかも計画中で触れた方がよいのではないかと。

事務局回答（要旨）

- ・指定管理制度は導入しており、公設民営の活用を検討。
- ・プール学習は利用可能な施設を活用し、民間委託も併用。
- ・健康増進センターは利用減少によりあり方検討を予定。保健センター機能の集約も検討。
- ・あり方検討は10年先、20年先を見据えた方向性を設定。所管課で機能面を含め検討。
- ・全天候型施設「サカイキッズパーク」は来年3月20日開業予定。子どもたちの期待が高く、利用促進を図る。
- ・東十郷中央公園は、新施設に手軽に活用できるような整備を予定。老朽化部分を改修も合わせて行いたい。
- ・コミュニティセンターは住民の方のライフサイクルなど踏まえて、より良くなるよう意見を伺いながら検討をして集約を進めるといような意味で、在り方検討としている。